

生活に困りごと・不安がある方はご相談ください

生活困窮者自立相談支援事業

経済的な問題や家族の問題などでお困りの方からの相談を受け、専門の相談員が相談者の抱える問題や状況を確認し、一人ひとりの状況に合わせた具体的な支援計画を作成し、寄り添いながら自立に向けた支援を行います。



家計改善支援事業

家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計を管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ、必要に応じて貸し付けのあっせんなどを行い、早期の生活再生を支援します。



就労準備支援事業

「社会に出ることに不安がある」「他人とうまくコミュニケーションできない」といった理由で、すぐに職に就くことが難しい方に、就労に向けたサポートや就労機会の提供を行います。



住居確保給付金

離職により住居を失う、またはその可能性が高い方に家賃相応額（上限あり）を有期で給付する事業です。※給付を受けるには、収入、資産、雇用施策による給付金の授受などいくつかの支給要件があります。



相談先

名寄市社会福祉協議会「生活相談支援センター」(総合福祉センター内)
☎01654③9862

問い合わせ

社会福祉課福祉総務係(名寄庁舎2階)
☎01654③2111(内線3221)

そのセキュリティ警告画面は偽物! 「サポート詐欺」に注意!

名寄市 消費生活センター通信

問い合わせ 消費生活センター ☎01654②3575

事例

パソコンでインターネットを利用中に、突然警告音が鳴り響き、ウイルス感染の警告画面が表示された。サポート窓口の電話番号に連絡すると、電話で指示されるままにパソコンを操作し、遠隔操作で警告音や画面を止めてもらい5万円のセキュリティソフトを購入し、電子マネーで支払った。(60代男性)



- ◆突然「警告画面」の表示や「警告音」が鳴り、実在するパソコンのセキュリティ会社名が表示されていても偽物である場合があります。慌てて画面のサポート窓口には連絡しないでください。
- ◆もし連絡すると、遠隔操作するためのソフトをインストールさせられたり、不要なソフトを購入し電子マネーで支払うよう指示されることがあります。そのような指示をされても、インストールしたり料金を支払わないでください。
- ◆自分で判断できない時は、周りの人に相談しましょう。警告画面や警告音は、ブラウザを終了したりパソコンを再起動してみましよう。詳細は(独)情報処理推進機構(IPA)のHPを参考にしてください。

アドバイス

普段からセキュリティ対策を心掛け、困ったときは、消費生活センターに相談してください。